

### 授業概要

私たちが日常行っている音声によるコミュニケーションの仕組みを調べてみることは大変興味深いことです。音声はどのようにしてつくり、伝わり、聞き取られるのでしょうか。音声そのものとは一体何でしょうか。この点について英語という言語を通して体系的に音声を考察することがこの講義の目的です。この講義では、音声学の理論を学習するだけでなく、実践的な発音練習も行いながら英語の音声の習得を目指します。この授業で身につけた音声学の知識は、英語学習者ならびに将来英語の教師を目指しているものにとって、英語ならびに音声のより深い理解に有益であるはずで

### 授業計画

第1回	イントロダクション：授業の概要、成績の評価方法などの説明 音声学とは？：音声学と音韻論、音声と音素など
第2回	標準米国発音（一般米語 General American）と標準英国発音（容認発音 Received Pronunciation） 音声器官、発声のメカニズム
第3回	一般的な母音の分類、基本母音、IPA（国際音標文字）
第4回	英語の母音1：強母音/弱母音、緊張母音/弛緩母音 短母音
第5回	英語の母音2：長母音、二重母音、三重母音 弱母音、半弱母音
第6回	一般的な子音の分類
第7回	英語の子音1：閉鎖音、摩擦音、破裂音
第8回	英語の子音2：鼻音、側音、半母音
第9回	音節：音節主音、音節主音的子音
第10回	小テスト（母音と子音の分類に関する試験） 子音の結合、音の脱落、同化など
第11回	アクセント：語アクセントから文アクセントまで、強形と弱形
第12回	リズム：等時性、アクセントの移動
第13回	イントネーション1：音調群、音調核、下降調と上昇調
第14回	イントネーション2：下降調と上昇調の用法、特殊なイントネーション
第15回	総まとめ（筆記試験）

### 履修上の注意

この講義で扱う内容が音声に関するものですから、英語が苦手な方も受講できます。英語の音声に興味がある方ならば受講を歓迎します。テキスト、プリント等も日本語で書かれたものを使用します。ただし、授業中に積極的に発音練習に取り組むことができれば受講資格はありません。

### 評価方法

小テスト（一回のみ 30%）と定期試験（70%）の結果で評価します。もちろん出席状況、学習に対する姿勢が良好であることはこの講義の履修上必要不可欠です。定期試験の問題は、授業中に講義受講者に配布するプリントにあらかじめ提示した問題の中から出題します。詳細については初回の授業で説明します。

### テキスト

竹林滋・斎藤弘子『新装版 英語音声学入門』（大修館書店）その他、適時、プリントを配布します。